

所沢市におけるフラッグフットボールの普及

The dissemination of flag football in Tokorozawa-city.

1K05A126

指導教員

主査 中村好男先生

高澤 知史

副査 吉永武史先生

【はじめに】

筆者が大学生活で出会ったニュースポーツがフラッグフットボールである。近年、フラッグフットボールは教育的価値が高いスポーツとして注目されており、教育現場などで急速に普及している。その魅力を知った筆者は、所沢市においてフラッグフットボールの普及活動を行ってきた。その経験に基づき、現在の所沢市におけるフラッグフットボールの普及状況を記し、今後の所沢市におけるフラッグフットボールの普及について考察していく。

【第1章】 緒言

近年、子どもを取り巻く環境の変化から体力低下やコミュニケーション能力の不足などを引き起こしている。そのため、社会性の欠如した子どもが増加している。そのような問題に対して、スポーツ少年団が普及したが、十分な効果は見られなかった。このような事態に対して、スポーツ振興基本計画によって対策が練られた。その具体的な方策として総合型地域スポーツクラブ、学校体育の充実などがある。

【第2章】 総合型地域スポーツクラブ

全国各地に設置されている総合型地域スポーツクラブでは、どこでも、誰でも、いつでも、いつまでもスポーツに親しむことができるクラブを目指している。筆者は、実際にWASEDA Club 2000という総合型地域スポーツクラブに関わっていて、その中にある「wild359ers」というサークルに所属し、フラッグフットボールやキンボールといったマイナ

ースポーツ、またはニュースポーツを子どもたちに指導している。

【第3章】 フラッグフットボール

フラッグフットボールは、アメリカンフットボールからタックルを無くし、老若男女が楽しめるように考案されたニュースポーツである。そして、フラッグフットボールは、自分達で作戦を考え、実行するという作業を繰り返すことで、考える力を養えるという特有の教育的価値を持っている。そのため、学校体育などで取り入れられ、体力やコミュニケーション能力の向上に効果を発揮している。

【第4章】 フラッグスによるフラッグフットボール普及活動

wild359ersの中の組織であるフラッグスは、所沢市においてフラッグフットボールの指導・普及活動を行っている。普段はフラッグスの参加者の子どもに対してフラッグフットボールの指導をしており、公式戦に出場したりもしている。普及活動としては「フラッグタウンプロジェクト」という計画に基づき、フラッグフットボールの認知を高めるために広報活動を行ったり、市内の小中学校で体験会を行ったりしている。現在では所沢市におけるフラッグフットボールの認知度が高まってきており、普及活動が本格化しようとしている。

【第5章】 国内外のフラッグフットボールの普及状況

今まで国内の普及に携わっていた2つの組織が統合され、日本フラッグフットボール協会が設

立された。これは今後さらにフラッグフットボールを
発展させていくことを目的としたものであり、普及
が促進されるものと考えられる。競技スポーツとし
てのフラッグフットボールも年々、競技レベルの高
まりを見せている。しかし、フラッグフットボールが
普及しているのは主に関東地区であり、その他の
地区はまだまだ関東に追いつくほどの普及は見
せていない。また、フラッグフットボールは日本だ
けではなく、世界でも広まりを見せている。特に本
場のアメリカでは、フラッグフットボールは長い歴
史があり、プロリーグが存在しているほどである。

【考察】

所沢市の普及状況は決して十分なものではない。しかし、着々と普及活動の効果は出始めている。現在は、所沢という地域にフラッグフットボールを知ってもらうための認知活動から定着化へと移行したところである。そもそも、所沢市には大学、総合型地域スポーツクラブ、フラッグフットボール関係者などのように、普及に必要な条件が揃っている。ぜひとも、この環境を活かして所沢市にフラッグフットボールを浸透させたい。そうすることで子どもたちの心身ともに充実した豊かな未来に繋がると考えられる。